

2024年6月7日

グリーンボンドを含む公募社債の発行条件決定について

この度、当社は、新たに発行するグリーンボンドを含む公募社債の条件を、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。

このうちグリーンボンドによる調達資金は、当社グループが「JR貨物グループ長期ビジョン2030」に掲げる「グリーン社会の実現」や「物流生産性の向上」の取組みの中で、2022年2月に策定したグリーンボンド・フレームワークに則り、環境改善効果の高いプロジェクトに充当されます。

当社グループは、将来につながる成長・戦略投資を積極的に推進し、貨物鉄道輸送が持つ環境特性と労働生産性に優れた輸送モードとしての特性を最大限発揮することで、2050年カーボンニュートラルやSDGsの実現に貢献します。

1. 発行条件決定日

2024年6月7日

2. 発行概要

社債名称	日本貨物鉄道株式会社第5回社債 (一般担保付) (グリーンボンド)	日本貨物鉄道株式会社第6回社債 (一般担保付)
発行年限	10年	20年
発行総額	70億円	70億円
利率	年 1.228%	年 1.947%
払込期日	2024年6月13日	2024年6月13日
償還期限	2034年6月13日	2044年6月13日
資金使途	輸送関連設備等の更新・新製(鉄道施設の老朽取替)にかかる設備資金、ならびに電気機関車の更新・新製にかかるリファイナンス資金	設備資金ならびに借入金返済資金
第三者評価機関	株式会社日本格付研究所(JCR)	-
主幹事証券会社	みずほ証券株式会社(事務主幹事)、野村証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社	
社債格付	株式会社格付投資情報センター(R&I) 株式会社日本格付研究所(JCR)	AA- AA

3. グリーンボンドの資金用途について

当社は、全国をつなぐ幹線物流鉄道ネットワークの強靱化と貨物駅の物流結節点機能の強化を推進しており、本グリーンボンドにて調達した資金は、主に以下の施策及びリファイナンス資金に充当いたします。

■電気機関車の新製（リファイナンス資金）

機関車を新製し、老朽化した旧形式機関車からの置換えを行うことで、故障の発生を予防し、安定輸送を確保するとともに貨物輸送サービスの向上を図ります。



導入車両：EF210形式直流電気機関車「ECO-POWER 桃太郎」
（主な運行線区 東北線、高崎線、東海道線、山陽線、予讃線）

■鉄道施設の老朽取替

老朽化した線路設備や構造物等の更新・延命化を図ることで、保安度向上及び安定輸送を確保し、かつメンテナンスコストの削減を図ります。



工事例：木まくらぎの鉄まくらぎへの取替

(参考)

・グリーンボンドについて

当社ホームページの「グリーンボンド」ページも併せてご覧下さい。

https://www.jrfreight.co.jp/ir_sustainability/greenbond